



森のめぐみの体験学習

## エコシステムアカデミー

2017年を振り返って、「エコシステムアカデミー」の取り組みについてご紹介いたします。

本年は、MPMグループ各社からの多くのご協力を得ながら、エコアカの活動をMPMグループ全体の活動としてさらに推し進めることができました。体験型環境学習については、関連する社外団体と連携して、白河での活動を中心に、東京や京都での活動が定着するとともに、新たに、八戸や北上での活動を行うことができました。

これまで材として利用されていなかった社有林のアカマツを、FSC材として伐り出し製品化する取り組みを行いました。まだ少量ではありますが、継続的な取り組みとしていき、教育林と生産林の両機能を有する夢のある森としていきたいと考えています。

新たに森の豊かさ・生物多様性を調査する一環として、土壌動物調査を開始しました。来年度の本格調査に向けて準備を進めていきます。

これからも、地域の方々および関連する団体との連携を深めながら、より一層企業価値向上につながる活動にしていきたいと考えています。

### I 体験型学習

#### 1. 環境教育

【白河地区での取り組み】

○白河第三小学校 6年2組保護者会（那須甲子青少年自然の家）（7月）

小学生23名+大人13名を対象に、森林環境学習+紙すき体験を行いました。



○イオン白河西郷チアーズクラブ（ビジターセンター）（8月）

小学生6名+大人1名を対象に、森林環境学習+樹木観察・計測+紙すき体験を行いました。



OFSC 材伐り出し体験（村火社有林）（8月）

FSC 材として村火社有林のアカマツを伐り出し、みなみ製材所にて板に製材し、最終的にカレンダー台（三菱製紙販売ノベルティ）に仕上げました。伐り出し作業をインストラクター等従業員 9 名で行い、FSC の流れを実体験しました。



○工学院大学エコ推進委員会（ビジターセンター）（9月）

大学生（エコ推進委員会）9名を対象に、白河事業所プレスボード製造工程見学＋エコアカ森林環境学習＋樹木観察・計測を行いました。



○福島県立遠野高等学校 2 年生（出前授業）（9月）

「県立学校における森林環境学習推進事業」の一環として、高校生10名を対象に、森林環境学習＋紙すき体験を行いました。



○炭焼き体験（釜出し/火入れ）（犬飼様）（9月）

インストラクター（3名）が参加して、炭焼き体験（釜出し、火入れ）を行いました。



○企業様新入社員教育（ビジターセンター、那須甲子青少年自然の家）（10月）

企業様新入社員 17 名を対象に、社員教育として、森林環境学習＋樹木観察・計測＋紙すき体験を行いました。



○羽太小学校＋川谷小学校 5 年生セカンドスクール（那須甲子青少年自然の家）（11 月）

小学生 13 名を対象に、森林環境学習＋紙すき体験を行いました。



○表郷小学校セカンドスクール 5 年生（那須甲子青少年自然の家）（11 月）

小学生 57 名を対象に、森林環境学習＋紙すき体験を行いました。



○フォローアップキャンプ（那須甲子青少年自然の家）（12月）

夏の「まるごとふくしま冒険キャンプ」に参加した小学生18名のフォローアップキャンプとして、森林環境学習＋紙すき体験を行いました。作ったハガキは10年後の自分へのメッセージを書いて投函します。



○第4回植樹会（成長の森）（2018年5月予定）

白河だるま総本舗との共同取り組み「Eco Lands」と連携したプログラムを計画中です。

【東京地区での取り組み】

○墨田区立両国小学校5年生（出前授業）（2月）

小学生90名（30名×3クラス）を対象に、森林環境学習＋紙すき体験を行いました。



○夏休み自由研究（水元公園）：環境教育＋マイ樹木図鑑作り（8月）

○ふれあいフェスティバル（水元公園）：クラフト（木、ドングリ）（10月）

○メタセコイアの森観察会（水元公園）（12月）

東京地区でのインストラクタートレーニングフィールドとして水元公園を利用することとしました。その一環として、水元公園でのイベントに参加協力しました。



○工学院大学「科学教室」(8月)

工学院大学の一般向けイベント「科学教室」にて学生エコ推進委員会が行う森林環境学習+紙すき体験に協力参加しました。小学生約100名が参加しました。



○企業様パーパーショウ出展(9月)

○紙ものフェス出展(11月)

営業支援として、卸商様主催イベントや地域おこしイベントに、FSCの紹介+ペーパーバッグ作りで参加しました。



○墨田区立両国小学校5年生(出前授業)(2018年2月予定)

【関西地区での取り組み】

○長岡京市立長岡第七小学校5年生(出前授業)(1月)

小学生64名(32名×2クラス)を対象に、森林環境学習+紙すき体験を行いました。



○乙訓地区小学校社会科研究会（7月）

小学校の先生 23 名を対象に、森林環境学習＋紙すき体験を行いました。



○長岡京市環境フェア：環境教育＋紙すき体験（11月）

一般の親子対象に、森林環境学習＋紙すき体験を行いました。16組の親子が参加しました。



○長岡京市立長岡第七小学校 5 年生（出前授業）（2018 年 2 月予定）

【八戸・北上地区での取り組み】

○八戸市立多賀台小学校 5 年生（出前授業）（2月）

小学生 23 名を対象に、森林環境学習＋紙すき体験を行いました。



○プロジェクトD 植樹会 in 北上（5月）

○プロジェクトD 下草刈り体験 in 北上（9月）

日本環境協会主催の東日本大震災復興プロジェクトである「プロジェクトD」への支援活動として、北上ハイテクペーパーの林地を利用した植樹樹会を行いました。これには、MPMグループ従業員に加え、秋田のドングリの里親の子どもたち、地元北上の子どもたち、計65名が参加しました。このプロジェクトは、今後、豊かな森づくりとして育樹会活動として継続します。



○北上市立南小学校5年生（出前授業）（6月）

小学生98名（34名+32名+32名：3クラス）を対象に、森林環境学習+紙すき体験を行いました。



○八戸市立多賀台小学校5年生（出前授業）（2018年2月予定）

【社内外へのエコアカ紹介】

○三菱社会貢献連絡会（10月）

三菱グループ各社CSR担当者（26社30名）を対象に、アクティビティ体験（紙すき、樹木計測、ペーパーバッグ作り）を行い、エコアカの活動を紹介しました。



○白河だるま総本舗へのエコアカ紹介（10月）

「Eco Lands」プロジェクトを共同で取り組む白河だるま総本舗様へエコアカの活動を紹介しました。



## 2. インストラクター養成

○インストラクター養成教育（八戸）（1月）

○インストラクタースキルアップ教育（本社）（4月）

○インストラクター養成教育（北上）（5月）

○インストラクター養成教育（本社）（6月）

○インストラクター養成教育（白河）（7月）

新たに18名がインストラクター補として仲間に加わりました。



## II 森の調査・研究

### 1. 社有林の定点カメラ観察

2011 年より継続して村火社有林の生長の森の一角を定点観察しています。天候や四季による表情の違い、年を経ることによる変化、自然の多様性と生命力を記録し続けています。

【2017年】



1月



4月



7月



11月

【2016年】



1月



4月



7月



11月

【2015】



1月



4月



7月



11月

【2011年】



1月



4月



7月



11月

### 2. 社有林内の土壌動物調査

○生物多様性調査（村火社有林）（7月）

○土壌動物調査（村火社有林）（9月）

○植生調査（村火社有林）（10月）

宮下直様（東京大学教授）にご協力いただき、村火社有林の土壌動物調査を開始しました。本年度は「ピットホールトラップ」による土壌動物を採取する方法を実地で説明を受け、来年度の本格調査に備えました。今回の予備調査においても、森の状態の違いによる土壌動物の違いを見ることができました。

また、中村徹様（筑波大学名誉教授）にご協力いただき、土壌動物調査エリアの植生を改めて調査いただきました。土壌動物と植生の関係が見えてくることを期待しています。



### 3. 社有林内の野鳥調査

日本野鳥の会白河支部のご協力を得ながら、社有林に生息する野鳥の調査を継続的に行っています。

また、観察路には社有林内を流れる沢を利用した野鳥観察エリアを設けています。水場が鳥たちから見えやすいように、生い茂る枝を払う、密生した樹木を伐る等の整備を行い、観察を継続しています。



野鳥観察エリア

### 4. 野生動物観察

村火社有林内で場所を変えながら、トレイルカメラでの野生動物の撮影を継続しています。食痕、足痕、排泄物等での生息確認と合わせて、トレイルカメラによる実際の姿を確認しています。イノシシ、シカのような大型の生き物、ウサギ・タヌキのような小型の生き物など多く撮影されていました。

（トレイルカメラ：動体を感知して撮影するカメラ。夜間でも赤外線撮影します。）



シカの食害



イノシシが掘り返した跡



クマの食痕

#### 【トレイルカメラ撮影】



シカ（成長の森）



シカ（堀川沿い）



イノシシ（成長の森）



イノシシ（成長の森）

### Ⅲ 森の育成・管理

#### 1. 社有林の巡視・整備（通年）

社有林内を巡視し、自然観察のフィールドとして子どもたちが安全に活動できるように、下草刈りや枯れ木・枯れ枝・倒木の処理、社有林内村道の清掃等を行っています。また、社有林内の放射線線量の測定も継続して行っており、推移を観察しています。村火・欠入社有林では獣害（獣痕）が目立ってきています。また、赤仁田社有林ではマツ枯れが発生しています。



欠入社有林



林内を流れる沢



枯損木整理

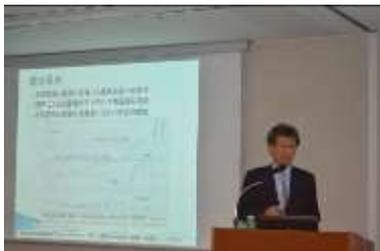


観察路整備

### Ⅳ 環境セミナー

#### 1. 第8回環境セミナー（11月）

「里山を考える」をテーマに、  
＞丹下健様（東京大学大学院生命科学研究科長）  
「里山の維持機構と今日的役割」  
＞井上有加様（林業女子会 発起人）  
「森に人が集う、ムーブメントのつくり方～林業女子会の活動から～」  
の2件の講演を行いました。本社会場で約170名、各場所で約90名の方に聴講いただきました。セミナーの様子が、多数の業界紙に取り上げられました。



#### 2. 環境ミニセミナー（7月）

＞太田猛彦様（東京大学名誉教授）  
「森林の現状をどう見るか～日本の森・世界の森～」をテーマに、インストラクター養成教育での特別講義としてお話いただきました。  
＞宮下直様（東京大学大学院生命科学研究科生物多様性科学研究室教授）  
「減る生き物、増える生き物、生物多様性から考える生態系と人間社会」という演題で、インストラクター養成教育での特別講義としてお話いただきました。



## V その他

### 1. 展示会への出展

○エコアカ本社ギャラリー展（8月）



○エコプロ 2017 への出展（12月）

今回の三菱製紙グループブースは「SDGs と FSC」をテーマに、MPM グループの取り組みを PR できました。



\*\*\*\*\*

【発行人】エコシステムアカデミー室長 長田雅一

【発行年月日】2018年1月15日